

【選考理由書】

組織名称：株式会社 島根富士通

主な事業：PC タブレット製造、設計・生産受託サービス

従業員数：627 名（2014 年 9 月）

認証取得：ISO 9001（1994 年）、ISO 14001（1999 年）*

* 2005 年より富士通グループとして統合認証。

1. 事業の特性

富士通(株)で開発されたノート PC（タブレットを含む）の一貫生産を行っている。品種の組合せは最大約 3 億通りあり、顧客一人一人の注文に応じるカスタマイズサービスを実施している。他メーカーが生産拠点を海外に移す中、日本国内に留まり、国内で生産されているノート PC の約 8 割を生産している（1 日に約 1 万台）。顧客は企業が多く、国内が 7 割、海外が 3 割である。1990 年に設立され、従業員は約 1200 人である（約半数が請負業者）。プリント板実装は 100%自動化されており、多品種小ロット生産を行っている。装置組立は人と機械（ロボット等）の協調作業であり、混流生産を行っている。

2. マネジメントシステムの特徴

第一の特徴は、生産準備段階において部品取り違いなどのヒューマンエラーによる不良発生のリスクを洗い出し、これに基づいて生産技術部門、製造部門、品質保証部門が協力してポカヨケの構築や検査の自動化を行っている点である。また、隙間等については、計量値として測定し、統計的手法を用いて不良の発生を予測し、ばらつきの低減を行っている。これらを通して徹底した未然防止を実践している。

第二の特徴は、是正処置すべき事象について部門・工程ごとに定量的な基準（不良率など）を設定し、これらをもとに異常を顕在化させ、その再発防止に組織的に取り組んでいる点である。基準は、過去のデータの統計的なばらつき、達成すべき品質目標に基づいて決めている。

第三の特徴は、部門ごとに必要な業務知識・技能を明確にした上で、一人一人について段階評価を行うとともに、担当業務から見て不足している部分を特定し、計画的な育成をはかっている点である。階層別・目的別に教育内容を体系化するとともに、各教育の効果を、理解度テストや幹部社員へのアンケートなどを用いて把握している。QC サークル活動や改善提案も活発に行われている。

3. 成果

社内不良は着実に減少しており、10 年間でプリント板実装では約 1/10 に、装置組立では 1/2 になっている。また、リードタイムも約 1/5 に、コストは製品付加価値向上の分を見込むと約 1/2 になっている。さらに、社外クレームも 5 年間で約 1/6 に減少している。これらは、未然防止活動、再発防止活動、人材育成やそれに支えられた改善活動の成果と言える。

以上より、株式会社 島根富士通の QMS 活動は、事業の特性に応じた特徴のあるマネジメントシステムを構築・運営することで着実な成果をあげており、高く評価できる。